

関西広域連合と象印マホービン株式会社との環境関連分野連携協定締結式および滋賀県と象印マホービン株式会社との環境関連分野連携協定締結式合同協定締結式次第

日時：令和元年(2019年)12月26日(木)

14:00~14:20

会場：滋賀県公館 ゲストルーム

1 開 会

2 協定書署名および写真撮影

(1) 関西広域連合

関西広域連合広域環境保全担当委員

三日月 大造

象印マホービン株式会社 代表取締役社長

市川 典男 氏

(2) 滋賀県

滋賀県知事

三日月 大造

象印マホービン株式会社 代表取締役社長

市川 典男 氏

3 ボトル贈呈等

(1) マイボトルの贈呈

(2) 『給茶スポット』デモンストレーション

4 挨拶

5 連携協定で取り組む連携事項の説明

(1) プラスチックごみ削減、省エネ、その他環境関連分野に関すること

6 閉 会

(配布資料)

○締結式出席者名簿

○座席表

○協定書写し（関西広域連合および滋賀県）

○環境関連分野連携協定締結に伴う取組（関西広域連合および滋賀県）

締結式出席者名簿【敬称略】

関西広域連合および滋賀県

氏名	職名
みかづき たいぞう 三日月 大造	関西広域連合広域環境保全担当委員 滋賀県知事
いしかわ やすひさ 石河 康久	琵琶湖環境部 部長
たかぎ ひろふみ 高木 浩文	関西広域連合広域環境保全局 局長 琵琶湖環境部 次長
みつはし すすむ 三橋 進	関西広域連合広域環境保全局 循環社会推進課長 琵琶湖環境部 循環社会推進課長
あまの たかし 天野 孝志	関西広域連合広域環境保全局 温暖化対策課長 琵琶湖環境部 温暖化対策課長

象印マホービン株式会社

氏名	職名
いちかわ のりお 市川 典男	代表取締役社長
にしの ひさし 西野 尚至	広報部 部長
やまだ しゅうへい 山田 周平	広報部

関西広域連合と象印マホービン株式会社との環境関連分野連携協定締結に伴う取組

【協力・取組内容】

① プラスチックごみ削減にかかる普及啓発への協力

- 象印マホービン株式会社のイベント等において、プラスチックごみ削減についての広域環境保全局の施策紹介と削減取組促進への協力
- 広域環境保全局が主催、共催、後援するイベントや、構成府県市の施設等において、象印マホービン株式会社が取り組む「給茶スポット（ブース）」の設置による、マイボトルの普及促進
- 広域環境保全局が主催するセミナー・イベントへの参画や商品協賛等を通じた、プラスチックごみ削減に係る啓発への協力

② 省エネ推進に向けた連携

- 広域環境保全局が行う省エネ統一キャンペーン(省エネ家電への買い替え)への協力
- 広域環境保全局が主催、共催、後援するイベントや、構成府県市の施設等において、象印マホービン株式会社が取り組む「給茶スポット（ブース）」の設置による、省エネの推進



マイボトル の *live with "my bottle"* ある暮らし

まだ「マイボトル」という言葉が日本になかった2006年4月、それまでステンレスボトル(水筒)を持ち歩く機会が少なかった大人に、環境への貢献と健康的なライフスタイルを呼びかける活動として、マイボトルキャンペーンは始まりました。10年以上の取り組みの中で、マホービンの保温保冷機能や、繰り返し使える容器としての良さが改めて認知されることになり、現在もさまざまな展開を見せています。

☕ 給茶スポット

マイボトルを持っていくと、購入したドリンクを給茶してくれるのが「給茶スポット」。マイボトルキャンペーンに賛同したカフェや日本茶専門店、レストランなど様々なお店が参加しています。



1 給茶メニューの中から好きなドリンクを選ぶ



2 持参したステンレスマグに注文したドリンクを入れてもらう(有料)



3 給茶してもらったステンレスマグを受け取り、お持ち帰りいただく



カフェや日本茶専門店など、全国に100店舗以上あります。

給茶スポットはこちら



「給茶スポット」がゼロ・ウェイスト認証制度パートナー認定を取得

当社が取り組んできた「給茶スポット」の活動が、特定非営利活動法人ゼロ・ウェイストアカデミー(徳島県勝浦郡上勝町 理事長:坂野晶)によるゼロ・ウェイスト認証制度におけるパートナー認定の第一号として認定されました。「給茶スポット」が、使い捨て容器を使用せず飲料のテイクアウトができ、こうした行動を促進する点が評価され、認定にいたりました。



Topic 全国の音楽フェスやイベントで「出張!給茶スポット」を実施!



国内最大級の音楽フェスティバルであるフジロックフェスティバルなどの全国のイベント会場で「出張!給茶スポット」としてマイボトルを持参した来場者の水分補給をサポートしています。

Topic G20大阪サミットで当社のステンレスマグが使用されました!



ステンレスマグ「TUFF」SM-TA36

2019年開催のG20大阪サミットにて、会場内の使い捨てプラスチック容器の使用禁止に伴い、国内外に向けてプラスチックごみ削減を発信するために、当社のステンレスマグが使用されました。

MY BOTTLE IS A BATON



未来へつなぐ、 私たちのマイボトル

繰り返し使えてゴミを減らせるサステナブルなマイボトル。
それは、豊かな環境を未来へつなぐバトンなのかもしれません。

海洋プラスチック問題など、日々深刻化する社会課題。
私たちはマイボトルを通じて、SDGsにも寄与する取り組みを2006年から続けています。

「暮らしを創る」が象印の企業理念。
「これからの暮らしのありかた」をあなたも一緒に創りませんか。

